

平成 25 年（2013 年）12 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（2 日目）

平成 25 年 12 月 11 日（水）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 ひとり親家庭支援・子育て行政について	本市におけるひとり親家庭の実態把握と支援のあり方について、以下伺う (1) 本市におけるひとり親世帯数の推移と、総世帯数に占める割合はどうなっているか。また、全国および県と比べるとどうか (2) 本市のひとり親家庭支援の現状と課題 (3) 本市は平成 16 年に「那覇市ひとり親家庭自立促進計画」を平成 20 年度までの 5 カ年計画として策定した。その後、同計画の成果は、「那覇市次世代育成支援行動計画」（後期・平成 22 年度～26 年度）に盛り込まれ、現在に至ると認識している。 本市では現在、「子ども子育て事業計画」を平成 27 年度に向けて策定中とのことである。以下、伺う ① 「那覇市次世代育成支援行動計画」と「子ども子育て支援事業計画」のそれぞれの特徴と違いはなにか ② 別途、「ひとり親家庭自立促進計画」の策定が必要と考えるが、どうか (4) 窓口対応について、以下伺う ① ひとり親家庭への支援や制度などの情報をまとめた冊子を自治体独自で作成・配布し、利用者満足と正確でスムーズな対応に役立っている他自治体の例を聞く 本市では、どのように取り組んでいるか

一般質問（2日目） 平成25年12月11日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 観光交通行政について	② ひとり親家庭支援に限らず、現況届など窓口が込み合う時期の窓口対応時間の延長を望む声がある。このような声にどう応えるか 那覇市内観光周遊バス実証実験事業「那覇ま〜い ゆいゆい号」の利用状況と今後の課題について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	翁 長 俊 英 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	緑化関連事業 について	(1) 那覇市の市木、市花木、市花の制定の目的 また、現状と評価について問う (2) 緑化推進事業としてどのような取り組み をしているのか (3) 花いっぱい運動推進事業について ① 事業の内容（目的、予算）と課題及び今 後の取り組みについて伺う ② 那覇市草花苗等配布要綱には公園にお ける設置、花木の配布は対象となっていな いがどうしてか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	前 田 千 尋 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 就学援助制度の拡充について 2 児童クラブ（学童保育）の待機児童解消と充実について 3 那覇市母子生活支援センター「さくら」の充実について	すべての子どもたちが安心して教育を受けるためにも、就学援助制度の果たす役割は重要である (1) 就学援助制度の目的と、那覇市の就学援助を受けている小中学生の人数(率)について、全国の中核市の実態も合わせて問う (2) 生活保護費の削減で、就学援助の適用基準額が引き下げられ、これまで制度を活用していた子ども達が外されることがあってはならない。影響と対策を問う (3) クラブ活動費とPTA会費、めがね購入助成費も対象項目に追加すべきである。見解を問う 小学生の児童クラブ（学童保育）における待機児童の解消が早急に求められている (1) 学童待機児童解消計画と進捗状況（待機児童解消人数）を問う (2) 那覇市の補助が適用される対象となる児童クラブを増やすべきである。見解を問う (3) 家賃補助金額を増額すべきである。計画を問う 現在、「さくら」に入所する場合には、家財道具や生活必需品を自分たちで準備しなくてはならない。しかし、資金もなく、住宅の確保もできない行き場のない母子もいる。那覇市は、家具や家電、寝具などの生活必需品を整備して、直ちに生活できる部屋を設置して、「さくら」を緊急避難場所としての活用を広げるべきである。「さくら」の現状と計画を問う

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 観光と中心市街地道路整備の充実について 5 久茂地小学校と前島小学校の統廃合問題について	平和通りの公設市場雑貨部前や衣料部前などの歩道において、埋め込まれた観光用の表示タイルが滑り、転倒する事故が多発している (1) 事故の原因、観光用タイルの目的と設置する際の安全性の確保はどのように検討されたのかを問う (2) 安全な道路環境を作るために、早急に事故防止対策をとるべきである。進捗状況を問う 11 月に行われた久茂地小学校の運動会は、小規模校の良さを活かしたひとりひとりの子どもたちの顔と地域の皆さんの強いつながりが見える温かいものだった。その際にも市民から、「なぜ那覇市は、この素晴らしい学校をなくすのか」との声が寄せられた。毎週金曜日には市役所前で今なお、「学校を残してほしい」と訴え続けてもいる。那覇市は、小規模校の良さを活かした教育を実現し、教育環境の充実を図るべきである。教育長は、この声をどう受け止めているのかを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	栗 國 彰 (自由民主党)	1 指定管理者 の指定について	議案書の議案第 134 号、135 号、136 号、137 号、138 号、139 号指定管理者の公募に 1 法人の応募のみと説明があった。議案第 140 号には 3 法人の応募があったようだが、本市には社会福祉法人や N P O 法人、社団法人、障害者団体、各種団体企業があるがどのような方法で公募したのか、また利用状況はどうなっているのか伺う
		2 道路行政について	本市街路樹について聞き取り調査をしたが、夏場、7 月～9 月頃フク木の実が熟し、車道や歩道に落ち、車に踏みつぶされて道路は汚れゴミとなり、歩道には実が落ち臭いニオイがし、衛生上良くないと苦情が多い 今後の管理の取り組みと植栽予定について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	宮 平 のり子 (社 民 党)	1 市長の政治 姿勢について	特定秘密保護法案について県内 41 市町村長の同法案に対するアンケートがあり、翁長那覇市長は、同法案の賛否は判断できないとし、同法案の影響についてわからないと回答している。衆議院で強行採決され、参議院の特別委員会でも強行採決されたが現在の市長の見解を伺う
		2 選挙について	去る 7 月の参議院選・那覇市議選などの投票所として指定された病院施設などの投票はどのような管理体制で投票が行われたか伺う
		3 N A H A マ ラソンについて	国内トップクラス規模の市民マラソン大会、N A H A マラソンは今年 29 回目を迎えた。27,697 人がスタート、その約 4 割は県外海外の参加者である。12 月第 1 日曜日に開催されてきたが、参加者が疲れた体をしっかりと癒し、沖縄を感じ取る時間、那覇市の滞在を少し伸ばせる土曜日開催にしてはどうか伺う
		4 街の緑化について	首里坂下から県立芸大崎山校舎に通ずる 2.2 キロの「金城ダム通り」のクロキ並木に、色鮮やかなデンファレなど 季節ごとに多種のランの花が着生し咲いている。現在 400 本余のクロキに 3,000 株を着生している 地域の人々や通りを行きかう車両にも癒しの通りとなっている。観光客の多いこの通りは亜熱帯（トロピカル）のイメージにあふれている。首里城から降りてくる石畳道と交差し、那覇の観光にも大いに寄与しているものと思う。那覇市全域に広げる施策と予算について伺う

質問方式

総括質問方式
(演壇・質問席)

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 防災について	(1) 災害時に介護の必要な高齢者や障がい者の把握と福祉避難所の現状と課題について問う (2) 津波緊急一時避難所 70 か所、小災害時の収容避難場所 5 か所、小中学校等の収容避難所 55 か所、広域避難場所 4 公園などに避難所の表示をし、市民に周知を推進するべきと思うが、表示しているか (3) 市内急傾斜地の土砂災害の通報システムが機能しないとの報道があるが対応策について伺う
		6 待機児童対策について	(1) 市民のひとりが念願の就職先が確定し、保育所の申し込みをしようと近くの認可園に問い合わせ、見学をさせてもらった。保育園の園長先生に空きがあるので役所に行ってくださいと言われた。役所の対応は、昨日 10 月 31 日が年度内の申し込み期限で、本日 11 月 1 日以降の受け付けは次年度平成 26 年 4 月以降の入所申し込みになると返事であった この対応のとおりであるか伺う (2) 市内の保育に関する総合サイトナハノホイク、保育施設相談員ナハノホイクナビはいつから機能するか伺う (3) 認可化支援の要件緩和のため 2 億円が 9 月県議会で可決され、県が新たに待機児解消基金として 30 億円提案されているが那覇市への影響を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員会委員長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	奥 間 亮 (自 民 党 新 風 会) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 那覇空港自動車道（小禄道路）の都市計画について 2 防災行政について	(1) 1・3・1号那覇空港自動車道（小禄道路）の整備計画について概要を伺う (2) 地元の自治会や地主会から、同計画について「全面高架橋により建設することを、那覇市から沖縄総合事務局並びに国の関係省庁に対して要請してほしい」旨の陳情が出されているが、今後、計画を変更し、全面高架橋により建設を行っていくことはできるのか、伺う (3) 小禄道路を都市計画決定するにあたり、事前に那覇市と沖縄総合事務局との間で、文書において協議を行っているが、その協議の内容を伺う (4) 地元住民や地主のみなさまのご意見をふまえ、今後、那覇市として、この事業についてどのように取り組んでいくのか、伺う (1) 本年度の、防災行政無線設置の進捗状況について伺う (2) 自主防災組織の結成率について、全国平均、沖縄県の結成率及び 47 都道府県中の順位、本市の結成率を伺う (3) 自主防災組織の結成率を高めるために、各自治会だけでなく、各小中学校 P T A のみなさまに対しても、結成を促す働きかけが必要であると考えるが、見解を伺う (4) 各小中学校 P T A のみなさまに自主防災組織の結成を促すにあたり、教育委員会も市民防災室と協力し、P T A のみなさまに働きかけていくことが必要であると考えるが、見解を伺う

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）設置について	(5) 自主防災組織の結成率を高めることは「小学校区コミュニティモデル事業」の活性化や「協働によるまちづくり」の発展にもつながると考える。その観点から、まちづくり協働推進課も市民防災室と連携し、自主防災組織の結成率を高める取り組みに協力していくべきと考えるが、見解を伺う 県は、「沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター（仮称）」開設に向けての取り組みを進めているが、本市内において設置の可能性はあるのか、また今後の本市の取り組みについて伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成25年12月11日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	山城 誠 司 (自 民 党 新 風 会)	1 都市行政について	本市は、首里城を中心とする、歴史的資源や伝統的な建築物が多く残るニシカタ地区（大中町・当蔵町・桃原町・山川町）において景観の保全、修景、整備、活用など景観形成について住民説明会を行っている。以下伺う (1) 説明会の目的・今後の計画・課題について伺う (2) ニシカタ地区の下水道整備状況について伺う (3) ニシカタ地区の細部街路の今後の計画について伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 中心市街地について	(1) 安心・安全なマチグァー地区の実証実験について、実証実験の内容及び経過・実験終了後の今後の予定を伺う (2) 大型店舗（ドンキホーテ）の出店に伴う駐車場の混乱は無いのか伺う (3) 自転車並びにオートバイが既存店舗前（那覇市道・歩行者専用道路）に違法駐車された時における即時撤去する際の法的根拠並びに対処する部署はどこになるのか伺う (4) 本市の中心市街地を活性化するには、推進するための基本計画が重要と考えるが、基本計画はどのようなになっているのか伺う
		3 公園整備について	中心市街地に位置する緑ヶ丘公園のその後の整備計画について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 駐車場整備 計画について	駐車場法第4条による本市も駐車場整備計画を策定する必要があると思われるが本市の対応について 駐車場条例及び二輪車放置防止条例並びに二輪車駐車場の附置義務条例を制定する必要があるが本市にもあると思われるが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 中核市にふさわしい職員定数について 2 泊保育園跡地利活用について 3 泊小学校グラウンド整備について 4 交通行政について	那覇市は今年４月から中核市となり、約 2,500 の事務が沖縄県から移行された。より身近できめ細かな行政サービスを行うためには、公務労働者としての那覇市職員の役割はますます重要になっている 現在、那覇市は第２次定員適正化計画「2200 プラン」によって、職員の定数管理を行っている。一方で、生活保護ケースワーカーや消防職員の体制についても、国が示す水準を満たしていない。中核市那覇市に相応しい職員定数にするべきである。「2200 プラン」の見直しについて、当局の見解を問う 泊保育園跡地は今後どのような利活用がなされるか。地域からは、保育園や学童保育など子育て関連施設や、高齢者の生きがい作りの場となる施設の整備を求める声がある。地域の声を反映した跡地利用計画を策定すべきである。当局の見解を問う 泊小学校の玄関通路および運動場は、水はけの悪い箇所が多く、学習活動や少年野球などに支障をきたしている。子供たちの教育環境を整備するためにも、改善策を講じるべきである。当局の見解を問う 11 月 3 日儀保交差点付近において、走行中の車が歩道に乗り上げ街路樹に衝突し、歩行中の男性 2 人をはねる死傷事故が発生した。ガードレールやすべり止め舗装など、歩行者の安全対策を県当局に早急に申し入れるべきである。当局の取り組みを問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 平成 25 年 12 月 11 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	湧 川 朝 渉 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 航空自衛隊 那覇基地エアー フェスタ 2013 について 2 那覇空港の 自衛隊機の爆 音被害につい て 3 那覇市消防 力整備計画に ついて 4 公園の遊具 の安全確保に ついて	(1) 那覇空港の利用者数、貨物取扱量、着陸回数は幾らで、国内何位か。当局の見解を問う (2) 国土交通省管理の空港で自衛隊のエアーフェスタを行っている空港はあるのか。当局の見解を問う (3) このような那覇空港でエアーフェスタを行うことは、危険との認識はないのか。当局の見解を問う 宮城と金城地域への騒音測定局の設置と那覇市のホームページでの爆音被害の公開の進捗状況について、当局の見解を問う (1) 市民の生命と財産を守るためにも、出火出動から 6 分 30 秒以内に放水が開始できない地域、いわゆる未到達エリアを一刻も早く解消すべきである。消防署所の適正配置において、いつ、どのようにして、未到達エリアを解消するのか。当局の見解を問う (2) 那覇市の救急隊の出場件数は類似都市と比べて、年間幾らで、一隊あたりの出場件数は何件か。また、通報から救急車が現場に到着するまでの時間は何分か。当局の見解を問う (3) 消防力の整備指針において、那覇市の救急隊は何隊必要で、那覇市は幾つ不足しているか (1) 都市公園の遊具の安全確保について、見解を問う (2) 那覇市の遊具の現状について、当局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、関係部長